

県市協調新ホール整備基本方針（案）について

1 趣 旨

「旧文化センター跡地」と、隣接する「県青少年センター用地」を一体化した「新ホール整備」に関し、基本的な方向性を定める。

2 基本方針の概要

（１）基本目標

県全体の文化芸術の振興や、県都のにぎわいの創出等の中核施設としての役割を担うことから、豊かで活力ある地域社会の実現に向けた整備を進めるための基本目標を次のとおりとする。

徳島ならではの文化芸術の力を結集し、希望あふれる未来を創生する

（２）施設の使命

①県民とともに、徳島ならではの新たな文化芸術を創造し、魅力を発信する

- ・ これまでの枠にとらわれない幅広い分野の文化芸術の融合
- ・ 文化芸術活動を活発化させる事業の主体的展開

②県民とともに、将来の文化芸術を担う人材を育てる

- ・ 若い世代への「体感の場」の提供
- ・ 新しい才能を育む「活躍の場」となる取組みの推進

③県民に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供する

- ・ 県民の皆様の文化芸術への高い関心に対応
- ・ 魅力ある鑑賞機会を提供

④国内外の多くの人々が集う施設となり、県全体の活力を向上させる

- ・ 国際会合や全国大会、学会等の開催による「活気に満ちた場」
- ・ 訪れる方々が徳島の文化芸術に共鳴し、さらに興味を抱くという「好循環」

（３）管理運営の考え方

- ①専門性の確保
- ②創造性のある管理運営
- ③経営的視点を持った管理運営
- ④ニーズの把握・評価の仕組みの構築

（４）施設整備の基本的考え方

- ①「阿波おどり」や「阿波人形浄瑠璃」など、徳島を代表する伝統文化の公演・練習に配慮
- ②照明や音響などの各種設備に、ＬＥＤ、４Ｋ・８Ｋ、５Ｇなどの先端技術の導入
- ③徳島中央公園との調和に配慮し、新ホールとの一体的な利用の可能性検討
- ④津波浸水対策や、周辺住民の避難場所としての可能性検討

（５）施設構成と機能

①ホールエリア

大ホール（１８００席～２０００席）、小ホール（３００席～５００席）、搬入口、楽屋、ホワイエ

②文化創造エリア

多目的スタジオ（リハーサル室）、活動室・会議室

③交流・にぎわい創出エリア

エントランス・交流ロビー、展示スペース、カフェ・レストラン等

④管理業務エリア、駐車場・駐輪場

（６）事業費

施設本体工事費 約１８０億円（約２０，０００㎡）

（７）整備スケジュール

「大阪・関西万博」の波及効果を視野に入れ、２０２５年度の開館を目指す。

（８）今後の取組み

これまでの検討内容と基本方針を踏まえた基本計画（案）を作成し、パブリックコメントや専門家の意見聴取などを経て、基本計画を策定する。